

# 伯耆町

平成27年1月発行 NO. 5



# 農業委員会だより



坂長より大山を望む

## 新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。良い年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年7月の農業委員改選があり公選、推薦を含めて25名の新委員が誕生いたしました。

平成26年は異常気象の影響で例年になく多くの台風が日本列島に接近、特に台風19号、20号は本土に上陸、近隣の広島県では大規模な土石流災害が発生して、多くの被災者の皆さまが避難生活を余儀なくされ、多数の犠牲者も出ました。亡くなられた方々のご冥福と一日も早い復旧を望むところです。

伯耆町の基幹産業である農業は、米の直接支払交付金が反当15,000円が7,500円に半減、また米価も需要の減少などによる在庫米増大の影響で大幅な下落となり、担い手、農業法人はもとより全農家の皆さんが大幅な収入減になった一年でした。

今年、第三期中山間地直接支払制度も3月で終わり第四期中山間地直接支払制度が4月から始まりますが、農業従事者の高齢化、少子化による後継者不足、昨年の米価下落などの影響により、耕作放棄地の増加が心配されるところです。

農業を取り巻く環境は明るい環境ではありませんが、農業委員全員が少しでも耕作放棄地が出ない様に農地中間管理機構と連携を図り、皆さま方の協力の下、職務を遂行する所存でございます。今後とも皆さま方のご指導ご鞭撻をお願いいたしまして、新年のご挨拶に代えさせていただきます。



車 睦宏会長

伯耆町農業委員会 会長 車 睦宏

## 伯耆町農業委員 (任期 平成26年7月20日～平成29年7月19日)

農業委員会は、農業者の代表で構成される行政委員会です。農地の保全や有効利用などに向けた活動を行います。

議席番号	氏名	担当地区	議席番号	氏名	担当地区
1	かがわけんめい 加川 賢明	遠藤	14	いのうえしようちろう 井上 祥一郎	大江・上野・金屋谷・岩立
2	のさかけんいち 野坂 賢一	岸本	15	ほりおゆうし 堀尾 祐史	坂長
3	かげやまただし 影山 忠嗣	大寺・殿河内	16	みかもてつろう 美甘 哲郎	岩屋谷
4	きむらしゆうし 木村 修司	籠原・栃原・大滝・大内	17	みつぎかつとし 光木 勝利	谷川・白水・根雨原・貴住 宮原・大倉・大原
5	かげやまつみ 影山 哲己	間地、焼杉、船越、福吉、福島	18	いざわけんいち 井澤 健一	上細見・立岩・林ヶ原
6	はたよしお 畑 嘉夫	二部地区、福居	19	おおほしみきお 大橋 幹男	吉長・駅前
7	いけぐちしんすけ 池口 真介	三部地区	20	みやざきみちこ 宮崎 美知子	大平原
8	やまねよしみち 山根 佳徑	中祖・古市・父原	21	かめやまひでと 亀山 英登	久古・福原・口別所
9	ありきひであき 有木 英昭	吉定・清山	22	せのおたけはる 妹尾 武晴	小野・小町・金廻
10	おか あきよし 岡 章義	宇代・荘地区・長山・妙見寺・溝口地区	23	もりたてつろう 森田 徹郎	真野・小林・藍野
11	かつべはるみ 勝部 晴美	押口	24	こにしのりあき 小西 憲昭	丸山・半川・大原
12	なかだけんいち 仲田 健一	番原・須村	25	くるまむつひろ 車 睦宏	畑池地区・福岡地区
13	ながみふみお 永見 文夫	富江・福永・大坂・末鎌・添谷			

## 平成27年春季農作業労働標準賃金協定表 (平成27年4月1日から)

春季農作業労働標準賃金を次のとおり定めました。

これを目安として、お互いの話し合いにより取り決めを行ってください。 (消費税込み)

作業名		溝口地域 (中間農業)	岸本地域 (平地農業)	摘要
一般農作業	男女共	6, 900円		8時間労働賄いなし
耕うん	整備田	6, 600円		10a当たり
	未整備田	7, 200円		10a当たり
代かき	整備田	荒代	6, 200円	10a当たり
		植代		
		荒植代同時		
	未整備田	荒代	6, 900円	10a当たり
		植代		
		荒植代同時		
機械田植	整備田	6, 300円	5, 600円	10a当たり
	未整備田	7, 200円	6, 400円	10a当たり
	側条施肥	500円加算		10a当たり
牧草刈り		3, 800円		10a当たり
畦畔草刈		1, 500円		1時間当たり
畔付け		54円		1m当たり

## コーナー 「頑張る農家さん」

久古 松岡 政彰さん

伯耆町久古の松岡さんは、元々長距離トラックの運転手だったが、家庭菜園や盆栽が好きだったので、農業をしようと思い平成21年に退職しました。

その後、好きだけではだめだと思い、近くの農家さん、彦名の農家さんの家に行き、農業実習と関金の農業大学校に行き、約1年農業をするための勉強をしました。

平成22年秋に就農して今日、春はスイカ、秋はトマト、冬はキャベツという流れで少しずつ規模を拡大し、農産物は全て米子市の青果市場に出荷しています。

### ○松岡さんのプロフィール

松岡 政彰 29歳 伯耆町久古で生まれる。

高卒後、米子市の会社に勤務。

その後、24歳で退職し一人農業を始める。

現在、鳥取県西部地区の若者6人でキャベツ部会を昨年設置し活動中。

- ・趣味 魚つり
- ・家族構成 - 五人家族
  - 父 - 会社員
  - 本人 - 農業
  - 妻 - 会社員
  - 子
  - 祖母



### ○平成27年度作付予定

春	ハウススイカ	6 a
	中型ハウススイカ	35 a
秋	ハウストマト	6 a
秋冬～冬	キャベツ	85 a

### ○農業に対する今後の目標

- ・規模拡大  
「スイカ・キャベツ」の作付面積の拡大。
- ・品質の安定  
1年間を通して良いものを作る。



キャベツ収穫中



ハウス (トマト、スイカ)

## 農地パトロール

伯耆町農業委員会では、管内の農地の状況把握と農地法に基づく利用状況調査のため平成26年8月23日に農地パトロールを実施しました。



農地パトロール状況

- ・農地の違反転用（宅地や山林等にする）  
3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は1億円以下の罰金）
- ・農地の違反転用における現状回復命令違反  
3年以下の懲役または300万円以下の罰金（法人は1億円以下の罰金）
- ・遊休農地対策  
農業委員会による指導、勧告

## とれたて市感謝祭

きしもと農芸クラブ会長 林原 徹

岸本農芸クラブが運営している「とれたて市」感謝祭を11月24日開催しました。

この農芸クラブは平成10年に岸本集落の14戸の農家が直売所を目指して結成しました。

14戸の農家は場所の選定、土地造成、建物の建築までを全て自分たちで作りました。

開店当初は類似店もあまりなく努力しなくても売れる時代でした。数年後にアスパルやガーデンプレイス、JA特売場が次々でき激しい競争の中で、良い品質、特色のある品物を求めて酵素発酵肥料を使用したり減農薬にこだわり、旨みと安全な品物を提供するため年2回の視察研修、月1回の月例研修会を開催し日夜努力と研究をかさね運営しております。

直売所の運営は少量多品目の品揃えが求められるため会員農家が工夫しています。

このような中で、17回目の感謝祭を開催することが出来たのも、利用者のご愛顧の賜であり、感謝しております。

これからもご要望に応えるよう新鮮で旨い品・減農薬で安全な商品の提供に頑張りますので、ご利用のほどよろしくお願いいたします。



町民の皆さん、農家の皆さん、身近な情報や紙面へのご意見ご感想などがありましたら伯耆町農業委員会事務局までお寄せください。

●広報委員 委員長 堀尾 祐史 委員 野坂 賢一、池口 真介、勝部 晴美、宮崎 美知子  
亀山 英登、車 睦宏、小西 憲昭、井上 祥一郎

連絡先 62-0715（農業委員会事務局）